



# J R 連 合 N E W S

J R に 集 う  
す べ て の 仲 間 の  
J R 連 合 へ の  
総 結 集 を !!

2020 年 度

N o . 1

2020年6月16日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 第 29 回 定 期 大 会

## 強固な団結と労使関係で危機を乗り越え

## J R で 働 く 全 て の 仲 間 の 総 結 集 を !



J R 連 合 は 6 月 16 日、田町交通ビルにおいて第 29 回定期大会を開催した。未だ収束を見通せない新型コロナウイルス感染症の影響により書面による議決としたが、2020 年度の運動方針をはじめとするすべての議案が全代議員の賛成により承認された。

本大会は Web 会議システム「Zoom(ズーム)」を活用してライブ配信し、広く視聴を呼び掛けた。冒頭、荻山市朗会長は挨拶でコロナ禍に関して、ダメージからの早期回復を果たし、収束後の社会変化にも先見性を持って臨むとの見解を述べたうえで、『JR 連合ビジョン』の『出会いふれあい 語り合い』の理念の下、世話役活動とコミュニケーションを運動の基本に据えて、コロナ後の社会変化にも対応し、仲間に寄り添い、助け合い、信頼される労働組合の強化と、JR 産業に働くすべての仲間の JR 連合への総結集を訴え、ビジョンの実践を進めていく」と決意を語った。また、連合の神津里季生会長からはビデオメッセージにて、感染リスクを抱える中で社会生活を支えていることへの謝意や、職場で奮闘する組合役員への敬意が表されたうえで、このような時だからこそ労働組合・集团的労使関係が重要であるとして、JR 連合の運動への強い期待感が示された。

代議員・特別代議員には、事前に議案書等の資料を送付し意見を募った。運動方針等を補強する意見は 70 を数え、そのひとつひとつに対応する執行部答弁と、尾形泰二郎事務局長の総括答弁を答弁書としてまとめて再度代議員・特別代議員と共有し、その上で賛否の意思を確認した。労働組合の原点である「対話」ができなかったからこそ、丁寧な意思疎通を心掛け、その結果として全代議員の賛意を得たのである。

いま直面している新たな困難と、今後劇的に変化する社会を真正面から受け止めつつ、組織の総力を結集して未曾有の困難を乗り越えるべく、JR 連合は全ての加盟単組、全ての組合員とこれまで以上に連携し取り組みを展開していく。